



香美史探訪記

第37回 公儀の井戸 (土佐山田町東本町)

寛文4年(1664)、奉行野中兼山は、山田堰を築き、舟入川・中井川・上井川を完成させて、山田台地に約127haの水田を開いたが、上井川から横堀川が完成しても、西本町3丁目以西が恩恵を受けたにとどまった。横堀川から東は水利に恵まれず、兼山は倉入(土佐山田町古町)に住む伝左衛門・武兵衛兄弟の意見を入れて、二カ所に大井戸を掘って共同井戸とした。それ以降、人家が増加し始めたと言われている。

駅前通り商店街筋南の交差点と東本町3丁目の郵便局の南側にあるのがこれである。

駅前通りの井戸は、直径2.4m、深さ10.5mで、丸鉄板で保護されている。

東本町の井戸は、径1.8m、深さ12mの大き



駅前通り交差点の井戸

さがある。大井戸の建設には、高岡郡から東6郡の井戸掘り職人を動員したと言われ、住民は、感謝の思いから公儀の井戸と呼んだ。万治年間(1658~1660)には、山田野地町が形成された。町の発展は舟入川の川輸送によるもので、物部川上流部や嶺北の産物を集荷し、折り返して、生活物資が送られた。江戸時代初期は、新田開発でも知られるように人口増加が進み、商品販売・製造販売や藩外への売さばき問屋も出現した。人の集まる所は人を呼び、やがて市も立つようになった。

土佐山田町は山すその集落の歴史は古い。山田野地の発展は、江戸時代初期からで、山田堰と舟入川、公儀の井戸、そして野中兼山の人を得て、歩みを始めたものである。

(香美史談会)



東本町の井戸



洞内にはめづらしい石筍があり、世界中から観光客が来ます。神秘的で美しい洞がある香美市と地理、地学的



白雲洞という鍾乳洞です。洞内にはめづらしい石筍があり、世界中から観光客が来ます。神秘的で美しい洞がある香美市と地理、地学的

に似ていると思います。二つ目は桃です。大きくて甘い邢台桃は中国で一番です。桃の産地ですから、冬暖かくて、夏涼しいです。香美市では皆さんが野菜やみかん、柿などの果物を育てているのがよいと思います。新鮮な魚が手に入るのもいいですね。おいしいです。人が多くないですね。仕事や勉強で香美市を離れているのでしょうか。私は小さいですが自然で静かな町、香美市が好きです。週日は勉強に没頭していますが、週末は長岡温泉に泳ぎに行ったりすることもあります。香美市での暮らしは快適です。香美市の皆さん、これからもよろしくお願いします。

ただいま留学中
路密芳 (中国 邢台)

おたんじょうびおめでとう

今月満1~3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。



◆被災地家族受け入れにご協力を!
東日本大震災の被災地・汚染地に暮らす家族の保養を目的とした高知・のびのび青空キャンプ在香美を開催します。できる範囲でのご協力をお願いします。
【日程】7月21日(土)~28日(土)
【場所】ほっと平山(土佐山田町平山)

■ボランティア(看護師)の募集
イベント中の事故に備えて、看護師資格をお持ちの方を募集します。
【申込方法】氏名・年齢・住所・電話番号(携帯電話番号)・メールアドレス・ボランティア可能日を記載し、次のメールアドレスに『ボランティア申し込み』というタイトルでお申し込みください。
nobinohiazora2012@gmail.com

■募金・寄付のお願い
【募金箱設置場所】香美市役所・香美市社会福祉協議会・駅前いんふおめーしよんほか
【寄付振込先】ゆうちょ銀行 記号番号1101620・5・68924
加入者名「のびのび青空キャンプ実行委員会」
【問い合わせ先】高知・のびのび青空キャンプ実行委員会 島津
090・8282・8556

第27回 かみかみクイズ

今月の賞品 災害に備えて手巻き&ソーラー充電できる防水充電ラジオライト
携帯充電への充電もできます。全問正解者の中から抽選で2名様に贈呈!

- A. 災害用伝言ダイヤルは〇〇〇をダイヤルする。
- B. 奥物部湖水祭の開催日は?
解答は、今月号の誌面にあるよ。携帯からメールで応募しよう。

応募方法

ハガキまたはEメールで①クイズの解答②住所③氏名④電話番号⑤誌面の感想を記入の上、応募してください。応募は1人1通とさせていただきます。 ※当選者は誌面で発表します。

■応募締切 7月31日(火) 必着
■あて先 〒782-8501 (住所記載不要) 香美市広報委員会事務局かみかみクイズ係
kamikami@city.kami.lg.jp

第25回当選者 猪野昌親さん・浅野悦子さん (応募総数27通)
第26回の解答 A. 支援 B. エコチル C. ゼロ災害

問 総務課 ☎53-3112

市民のひろば

掲示板



(山田高校マンガ部)

モラロジー 生涯学習セミナー

【日時】7月9日(月)~10日(火) 19時~21時
【場所】高知工科大学
【演題】心がつくる人生
【講師】片山紘子・福島道博(モラロジー研究所)
【参加費】1500円
【主催】公益財団法人モラロジー研究所
【問い合わせ・申込先】香美モラロジー事務所
052・5505

編集後記

▼特集した繁藤大災害。二度の山崩れと思っていたのが、五度も崩れていたり、繁藤以外にも大きな被害が出ていたり、取材を通じて、初めて知ることも多くありました。行方不明者の搜索現場の壮絶な様子を聞くと、必ずくると言われている南海地震の復旧作業が想像され、身が引き締まる思いでした。(細木)

